

千葉・小4虐待死

地裁公判 被告の携帯電話に動画

心愛さん「ママ、助けて」

千葉真野田市立小4年の栗原心愛さん(当時10)を虐待し死なせたとして、傷害致死罪などに問われた父勇一郎被告(42)の裁判員裁判公判が25日、千葉地裁(前田慶裁判長)で開かれた。検察側は被告の携帯電話に保存されていた動画を再生し、心愛さんが泣きじやくりながら「ママ、助けて」と繰り返す様子を明らかにした。被告の母や妹の証人尋問も行われた。

2018年7月に撮影された27分31秒の動画では、勇一郎被告に屈伸し続けるように命じられた心愛さんが



栗原心愛さん

が苦しうに息を切らし、「ママ、助けて。お願い」と訴えていた。同月の別の動画には、心愛さんが「私を(家族に入れるよ)」と言う

証人尋問で被告の妹は、心愛さんが沖縄県から千葉県に引っ越してきて間もない17年9月、「パパに蹴られた」「夜中に5時間立たされた」と打ち明けられたと証言。心愛さんの腰の辺りにあざのようなものがあったが、被告は「やっていない」と否定した。勇一郎被告の母は、被告の性格について「自分の考えを意固地なくらい通そうとする。何か注意すると理屈で責められ言い返せない」と話した。

検察側は21日の冒頭陳述で、被告は一度離婚し復縁した心愛さんの母との間に次女が生まれると、心愛さんを疎ましく思うようになったと指摘していた。

2020.2.26 (水)
神戸新聞分

昨日、懲役16年という判決が出ました。
ただ やるせないことが多過ぎる。「パパ、ごめんない」
それ以上に何故 そんな動画が残っている。そんな
動画を撮るよりも 父も母もするべきことがあったのでしょ。
悔いる気持ちまで自分を見つめ直せるのか 自分の保身に
走るのか。親になっていく皆さん。どうぞこのような
誤りを起こさないでね。